

患者の皆様へ

2019年4月23日

呼吸器外科

現在、呼吸器外科では、「頭頸部癌肺転移に対する肺切除術後の治療成績」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では頭頸部癌の肺転移に対して肺手術を受けた患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「頭頸部癌肺転移に対する肺切除症例の検討」

2. 研究の意義・目的

頭頸部癌肺転移に対する肺切除の術後5年生存率は26%~60%と報告されておりますが、その意義はいまだ明確ではありません。そこで、当院で施行した頭頸部癌肺転移に対する肺切除後の予後と予後予測因子を検討することを目的として、この研究を行うことになりました

3. 研究の方法

本研究では、患者さんのカルテから年齢、性別、喫煙歴、術式、手術時間、生存期間などの臨床データを集積し、頭頸部癌肺転移の術後生存期間を確認し、どのような因子が術後の予後に影響するのかを明らかにするための解析を行います。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて

掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

研究実施責任者 : 教授 吉野 一郎

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院呼吸器外科

医師 和田 啓伸

043 (222) 7171 内線5463